

15 番 市来 洋志 議員

1 畜産振興について

- (1) 本市において、今更いうまでもなく畜産業は基幹産業の大部分を担っている。特に肉用牛に関しては、日本一の称号を得て各々農家さんは責任と自信を持って生産、肥育されている。その様な姿を見て、本市で学んだ若者が、本市で肉用牛経営を生業してみたいと言う声が多く上がっている。しかし、新規就農するためのハードルが、あまりにも多く高いようである。基幹産業と胸を張っている以上、より多くの政策が必要であると考えが、いかがか。
- 本市の新規就農される方々への政策はどのようなものがあるのか。
- また、現在ある政策の改善点や新たな政策の考えはあるのか示されたい。

2 建設工事入札参加資格における格付基準について

- (1) 公共工事の元請受注を目指すための入札参加に当たり、建設業者の企業規模・経営状況などの客観事項を数値化した審査を受けなければならないとされる。この審査は経営事項審査と呼ばれ、官庁・地方自治体が入札ランクを決定するに当たっては、ほとんどの場合、「経営事項審査の総合評定値（客観点）に各官庁・地方自治体等の独自の基準（主観点）を加えた総合点数が用いられる」とされている。公共工事を入札するに当たり格付けは、一番大切なものであると思うが、本市の格付けにおいて、主観要素が分かりにくいという声をよく聞くが、分かりやすくするため公表することは考えられないか。
- (2) 総合点数によってランク付けをされていると思うが、同ランクにおける点数の開きが大きいという声も聞こえる。ランクの最低点を見直す考えはないか示されたい。
- (3) 入札参加資格業種において、格付を行う業種と登録業種がある。県においては格付されている業種が本市においては登録業種になっている。県と同様に格付業種にする考えはないか示されたい。
- (4) 4月1日以降に完成届を受理し、工事成績評定を行う業者に対してICT活用等で加点をすると紙面発表があった。監督員の創意工夫でICTを活用した情報化施工、遠隔臨場、情報共有化システムへの取組と建設キャリアアップシステムへの活用についてそれぞれ最大0.4点の加点対象となるとされている。国・県も既に取り組みされているが、どの様な違いがあるのか示されたい。